

光栄の森

平成27年2月 毎月1日発行 第80号
発行者 光栄プロテック 編者

2月に向けて 『初心 わするべからず』

代表取締役 三田雅憲

寒さが続いておりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

2月は大口物件がいよいよ稼動します。駆け込み需要も加わり、工場は前期同様忙しくさせてもらえそうです。硫化イブシや緑青仕上げ、ピアノ調仕上げといった当社の看板である仕上げとともに、一般高級塗装や粉体塗装なども好評で何度もリピートしていただけるありがたい月となりそうです。

現在は先述のとおり忙しくさせていただいておりますが、リーマンショック時の5年ほど前は本当に当社も仕事が少なく我慢の日々が続きました。設備が故障してもすぐに修理できなかつたり、材料を切り詰め切り詰め、納得のゆく製品に仕上げるにはとても余裕のある環境とは言い難い状況でした。残業も当然できないし残業をして仕上げる製品もない。私自身も切り詰めた生活をしていたので、いろいろな意味で余裕がなく、当時の社員にも厳しく感情で怒鳴っていたことも多かったと思います。毎日毎日が不安で月末が恐ろしかったことを思い出します。そんな中でも信じてついてきてくれた現班長たちをはじめとする社員に感謝です。また支払いの遅い当社に文句も言わず材料を供給していただいた材料屋さんにも感謝です。なによりそんな中でも会社の舵取りを任せてくれた会長に本当に感謝です。自己反省や内省をせず、相手にばかり問題を訴えていた自分に対して、天の神様が大きな試練を課していたのだと今考えればそう思います。

そして今、新しい社員も加わり仕事も格段に増えました。新しい仕上げにチャレンジし、短納期にもかかわらず果敢に戦ってくれている姿を見ているとありがたい気持ちでいっぱいになります。私をはじめ会社としても当時の仕事が少ない時期のつらさを忘れることなく、お客様の信用・信頼に対して気を入れて誠実に仕事を遂行していきもらい、より一層の飛躍につながるようみなで頑張りましょう。

2月18日には、正式に千葉の工場の取得契約を締結してまいります。これからも社員およびご家族のご協力を賜りたく心からお願い申し上げます。